

# 令和4年度第1回史跡根城跡整備活用検討委員会 議事要旨

日 時 令和4年9月30日(金) 10:00~12:00

場 所 八戸市博物館二階体験学習室

## 委員

出席委員4名 工藤竹久委員長 北野博司副委員長 宮野則彦委員 石橋充志委員

欠席委員2名 熊谷隆次委員 倉原宗孝委員

## 指導・助言

岩田安之(青森県教育委員会文化財保護課)

## 事務局

教育長 伊藤博章

博物館 小保内館長 下村副館長 市川主査 中村専門員

社会教育課 横山主査

(有) ウッドサークル 曾根田 有井

## 次第

1. 開会
2. 教育庁挨拶
3. 委員長・副委員長選出
4. 会議
  - (1) 令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画について
  - (2) 史跡根城跡防災設備改修実施設計について
  - (3) その他
5. 閉会

## 資料

八戸市史跡根城跡整備活用検討委員会 委員名簿

八戸市史跡根城跡整備活用検討委員会 席図

八戸市博物館条例抜粋・八戸市史跡根城跡整備活用検討委員会規則

別紙1 令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画

別紙2 史跡根城跡防災設備改修実施設計資料

別紙3 史跡根城跡展示改修ワーキング会議 概要報告

別紙4 主殿耐震診断について

## 会議

### (1) 令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画について

#### ・令和3年度事業報告

##### 園路舗装工事

○北野委員：寒冷地で園路整備工事は各地の課題になっています。昨年度複数種類の仕様で園路舗装を試験施工ができたことはとても良かったと思います。経過観察し、結果を本丸の園路整備に反映していただきたいです。

◎事務局：承知しました。

##### 薬草園活用に関する共同研究

○北野委員：薬草園の活用に関する共同研究は大変良い試みです。調査研究を行い、その成果を活用や整備に反映させるという形は理想的な在り方です。

◎事務局：承知しました。

##### 史跡根城広場散策マップ作製

○北野委員：利用者のニーズを反映したマップ作りや、広報への連載など、小さいことではありますが重要な活動です。根城では大小さまざまな活動をしておられますが、非常に先進的な整備・活用をやっておられると感じています。今後もぜひ継続して進めて下さい。

◎事務局：承知しました。

##### 本丸大イチョウ樹勢診断

○北野委員：本丸大イチョウの保護を目的にバリケードを設置したとのことですが、同所は人目につく場所にあたります。景観に配慮したバリケードを設置していただきたいです。

◎事務局：現在のバリケードは工事現場等で使用するような一般的なコーンとバーです。本丸を無料公開する秋までには見栄えのよいものに改めます。

○工藤委員長：今年もイチョウウィークは開催する予定ですか。

◎事務局：11月5日から13日までの期間、開催します。

○工藤委員長：イベント時は主殿も無料開放しますか。また、昨年は何人程度の来場がありましたか。

◎事務局：主殿も含め、本丸内は無料開放します。昨年度の来場者数は1,191名です。

## ・令和4年度事業計画

### 史跡根城跡活用ワーキング会議

- 石橋委員：活用ワーキング会議は、どのような経緯で開くことになったのか。
- ◎事務局：第2次整備計画書を作成する際、検討委員会において、活用についての記述が少ないという指摘を頂戴しました。来場者のニーズを伺い、それに合わせた整備と活用をするためにも、同会議は必要であると考えています。
- 石橋委員：私は根城地区に暮らしていますが、根城町内会と史跡の関わりが薄いと感じています。地域としても史跡との関係を深めたいと考えています。
- ◎事務局：承知しました。

### 本丸復原建物改修工事実施

- 工藤委員長：宮野先生。復原堅穴建物の三和土は傷みが目立ちますね。
- 宮野委員：堅穴建物の設計についてですが、屋外部分の地際の三和土は屋根がかかっていないため、雨ざらしになっています。その影響で三和土が崩れやすくなっているのですが、これは設計上仕方がないと思います。また、建物入口部分の腰壁も雨ざらしですが、やはりここも傷みが目立ちます。これらの部分については上屋の設計を変えない限り、対策はできないでしょう。

今回の改修工事は、昨年度から博物館の担当者と相談をさせていただき工法を考えました。理想を言うなら、今回の改修に合わせ、建物全体を防水シートで包み、地面からの水分供給を絶つことができれば良かったのですが、そこまで大規模な工事をする予算はないというお話しでした。なので、資料にあるとおり、建物周辺の土にセメントを加え改良することによって水分供給を絶つことを考えました。また、セメント改良土は見た目的に質感が固いものになってしまいます。今回は、この上に地場の土を使った三和土を塗ることによって、現状に近い質感を維持するという方法をご提案させていただきました。

- 工藤委員長：分かりました。

### 薬草園活用に関する共同研究

- 宮野委員：薬草園の管理に、専門の方は入っているのでしょうか。
- ◎事務局：薬草園の設置は平成7年から9年にかけて行われました。当初は植物分野を専門とする市文化財審議委員に監修をお願いしました。以降は、市職員にも文化財審議委員にも適当な人材がいなかったこともあり、広場内の草刈りや伐採を委託している造園業者と、博物館が連絡をとりながら管理しているという状況です。

ただやはり、本当の専門家が管理しているわけではありませんので、例えば実際に植えられている植物と看板に書いてある名前が違ふとか、洋種の草木が紛れこんでいるなどの問題も目立つようになってきました。このタイミングで専門の先生にご監修いただき、リストやマップを作り直す機会を得ることができたのは、大変ありがたい話だと感じています。

- 工藤委員長　：七味唐辛子作りのイベントは、どの程度の参加者がありましたか。
- ◎事務局　：定員を15名に設定しましたが、早々に予約で定員が埋まりました。ただ当日は急遽キャンセルがあり、結果12名の参加となりました。

#### 注意・禁止事項看板及び来場者カウンター設置

◎事務局　：資料に挙げた来場者カウンターの購入を予定していましたが、半導体不足の影響により、同製品は今年度中に購入することができなくなりました。今年度中に代替品を探るか、ないしは次年度の購入と設置を検討しています。

○北野委員　：いただいた資料を拝見すると、来場者カウンターと禁止看板は、薬草園に近い位置で向かい合う形で配置されるようですね。これだと園路に大きいものが二つ並んでしまうことになり、目立ちすぎるように思います。これらのものは、もう少しコンパクトに一体化することはできないでしょうか。

資料にある来場者カウンターは少し大きいように思います。もう少し高さのないものにはできないでしょうか。また、カウンターの設置位置を決めた理由について教えていただきたいです。

◎事務局　：現在設置を予定しているカウンターは、ソーラーパネル式のもので、ソーラー式にすることにより、土中に電気配線を設けなくてもよいので、遺跡に影響を与えないという利点があります。

来場者カウンターの設置位置は、メーカーと協議し決めました。人通りが多い箇所、かつ大木などの陰にならない場所なので、カウンターの能力を発揮するにはこの場所が良いと考えます。カウンターの高さについてですが、ソーラーパネルの受光を考えると、ある程度の高さが必要です。いろいろ比較しましたが、低くても機械の高さは1,800mmから2,000mm程度は必要になるようです。高さについては、これ以上低くすることが出来ませんので、支柱の色を茶系のものにするなどして目立たないようにしたいと考えています。

○北野委員　：禁止看板と来場者カウンターと一体化させ、一か所に設置することはできないでしょうか。

◎事務局　：先ほど、資料にある来場者カウンターが購入できなくなったというお話しをさせていただきましたが、代替品購入の検討を進めています。現在、代替

品として設置を検討している他社のカウンターはもっと背が高いものになり、基礎の設置も必要です。

先ほどご意見をいただいた、禁止看板と来場者カウンターを一体化できないかという問題についても、このカウンターの基礎設置の議論に合わせて、検討してみたいと思います。

○北野委員：わかりました。カウンターの設置位置についてですが、広場自体の正門的な存在である旧八戸城東門付近に来場者カウンターを設置すると、相当数の来場者を拾い損ねるだろうという判断でしょうか。

◎事務局：おっしゃるとおりです。東善寺館の多目的広場に駐車し、そのまま広場に来場するお客様も多くいらっしゃいます。資料に挙げた位置が適当な設置位置だと考えました。

○工藤委員長：資料にある製品以外のカウンターの設置を検討しているというお話しでしたが、別製品ならばカウンターの高さをもっと抑えることができますか。

◎事務局：様々な製品を比較しましたが、資料に挙げたカウンターが一番高さのないものです。他の製品になると、どうしても2,000mmを超えます。

○工藤委員長：わかりました。引き続き検討し、報告をお願いします。

#### 史跡根城跡活用ワーキング会議

○北野委員：先ほど石橋委員からお話しがありましたが、活用ワーキング会議を行うのならば、地元の方が参加できるような体制にした方がよいのではないのでしょうか。あるいは運営に関しても地元の方が持続的に関わっていけるよう議論できるとよいと感じました。

○工藤委員長：活用に関しては、作業部会に相当する会議を年に何度か開いていますよね。その会議に地元の方が参画できるようにしてもらえると、地域の方の意見も伺うことができいいんじゃないでしょうか。

◎事務局：検討いたします。

#### (2) 史跡根城跡防災設備改修実施設計について

○事務局：※別紙2に基づき、計画中的本丸防災設備改修工事の内容を報告。

○工藤委員長：当初整備の際は、主殿に警備員が2名常駐する前提で防災設備を計画しました。その後事情が変わり、夜間警備員は1名になってしまいました。夜間警備員が一人でも初期消火が出来る内容で、今回の検討をしていただいたわけですが、これは相当な金額になる工事ですよ。市の予算に納まりますか。

◎事務局：基本設計時の段階では、消火ポンプと自動火災報知機の更新は計画

に入れていませんでした。今回の計画ではその二つが追加されましたのでその分増額になります。

また、先ほど予算的な部分についてのご質問がございましたが、防災設備工事を単年度で行うか分割して進めるについては、庁内で概算設計を行い、その後に検討したいと考えています。

今回の会議では同工事のスケジュールを提示できませんでした。次回の委員会までには、検討を済ませ、スケジュールもお示しできればと考えています。

○工藤委員長：いろいろな事業がありますが、防災設備の改修工事は急がないといけないものですね。難しい工事でしょうが頑張って下さい。

◎事務局：ありがとうございます。

○北野委員：先ほどの報告の確認ですが、消防からは自動通報設備を設置するよりも、携帯電話による通報が適当だと指導を受けたと理解してよろしいですか。

◎事務局：おっしゃるとおりです。消防と協議したところ、夜間警備員が一名であるならば、携帯電話で通報しながら、初期消火作業をした方がよいという回答でした。

○北野委員：状況を確認できないと消防は出動できないということでしょうか。

◎事務局：消防からの折り返しに対応できないと、出動が難しいという説明でした。なので、事務所に通報連絡用の設備を新設するよりも、初期消火作業をしながらでも連絡が取れる携帯電話の方がよいというお話しでした。

○北野委員：分かりました。

### (3) その他

史跡根城跡展示改修ワーキング会議

◎事務局：※別紙3に基づき、史跡根城跡展示改修ワーキング会議の検討内容を報告。

○工藤委員長：ご説明いただいた主殿内の展示改修は、主殿の屋根替えや耐震補強などの改修工事後に行うのでしょうか。

◎事務局：主殿内の展示改修と、屋根替えなどの工事は共に令和7年・8年を計画しています。屋根替え・耐震改修、そして展示改修工事の中でも建築の構造に関係する内容のものは木工事として一体工事で行います。なので、工事内容的にはこれら木工事と、人形や復原遺物の新調を行う展示改修工事が並行して行われるという想定です。

○工藤委員長：分かりました。

## 主殿耐震診断について

◎事務局：※別紙4に基づき、主殿耐震診断の経過を報告。

○工藤委員長：当初復原の際、設計を行った文化財建造物保存技術協会の担当の方方は、主殿は木造平屋建ての建物だから、耐震性能はかなり高いとお話しをされていました。

◎事務局：現在の耐震診断基準に照らし合わせると、補強が必要な状況です。

○北野委員：数値目標が1/20radとなっているが、これは過剰ではないでしょうか。また、ダンパーとブレースを入れる計画としていますが、ここまで大きさにやる必要があるのでしょうか。例えば見え隠れにブレースを入れるだけでなんとかできませんか。検討をお願いします。

◎事務局：承知しました。数値目標は事務局が設定するものです。他例と比較し、妥当な基準での工事を検討したいと思います。

また、工法の検討についても承知しました。補強方法や施工箇所についても、情報収集し、今後も検討を続けます。

## 下町園路

○石橋委員：広場内で水が出ている箇所があり、来場者が歩行できない部分があります。見学コースを充実させるためにも、歩きやすい状態にしてほしい。また下町の方の園路は獣道のように人が歩くところがうっすらと見えるだけの状態になっています。見学ルートはもう少し分かりやすくしてほしい。

◎事務局：園路全体の整備については、昨年度検討を行いました。現状についてですが、天候の影響を受けてしまう部分が非常に大きいです。今年は特に雨が多いため、ぬかるんでいる場所も多いです。例年なら大雨が降っても二日もあれば乾くのですが、今年は水が止まりません。対応に困っているというのが実情です。予算に限りはありますが、日常管理の中でできる限りの対応をしていきたいと考えています。

○石橋委員：スノコのような仮設的なものでもいいので、見学コースを示し、その部分は歩けるようにしていただきたい。

それと、見学ルートの案内がないため、使われていないルートもあります。これも残念だな、もったいないなと感じています。

それともう一つ。広場内を歩いていた時、100名城スタンプの目的で来た県外の来場者の方とお話しをする機会がありました。あちらの方向に八甲田山が見えますよと案内をしたら、非常に喜んでいました。八甲田山が持つネームバリューは大きいと思います。八甲田山がどちらの方向に見えるのか見物者に示すようなことも考

えてほしいです。

○工藤委員長　：地域の方ならではの意見でした。こちらについても参考にして下さい。

◎事務局　：承知しました。

次回会議

◎事務局　：次回会議は来年2月を予定しています。

以上